

令和4年10月21日 産業建設委員会月例委員会

協議事項（1）：第八次総合計画の見直しについて

委員会は協議事項について約50分間にわたる質疑を終了した後に、議員間討議を経て（約25分）今回の協議についてはこのままでは応ずることは難しいとの結論に至った。議事録として掲載した部分は、委員の質疑が一巡した後に委員長が理事者の見解を質した時点から、議員間討議を経て、協議事項（1）を終了するまでとした。

西田委員）委員長交代します。

中田委員）先ほどから理事者側の答弁は聞きました。総合計画の見直しっていうことは、どういうことを想定しながら議会に提案されたってところが少し曖昧なんです。あなた方が説明しようとすればするほど曖昧になってくる。だから、時期早々なんじゃないかっていうような委員の意見が相次いだ。もう一つこれは前置きですが言わせていただきます。今回の2ページ目の見直しのポイントに、移動診療車の導入などというこれを、あたかも目玉政策のように言われて、だから見直すんだっていうことの象徴みたいになっていますけど、果たして全国の都道府県、所在地のあの自治体がこうした政策をどんどん導入している中であって、**総合計画を改定してまでそれを導入するっていうことをやった自治体の事例はあるんですか**、お聞きします。

上田企画部長）全国の自治体につきまして把握をしているところではございませんが、例えばといいますか、今ご質問の移動診療車の導入というこの一点だけを捉えて、**これを導入するためには、総合計画の見直しが必要かといえば、決して必要ではない**と考えております。

中田委員）ことほどさように、私はなぜこれ聞いたのかっていったら、私達が質さなければならないあなたたちの政策に対しての**七つの論点情報**（の内に）**他の自治体の同じような政策と比べた場合、どう判断したかっていうこと**。これ二つ目か三つ目に出ております。だから聞いた。今、これに絞って言えば、上田部長言われたように、必要ないと私は判断します。だから、先ほど言われたような橋本委員から指摘があるような**個別計画、それから実施計画の中での、訂正で済むのじゃないか**と。うん。私もそう思います。だから、あなた方が必要であるというこの差し迫った状況の中で、市長公約云々のことがあるから、総合計画を見直すんだっていうことを言われると、各常任委員会でもあったように、どうした点を総合計画に位置づけて、総合計画のどこを見直すんだらうっていうふうを受け止められる。個別計画でも、手直しをしながら順次市長公約の実現に向けて、スピード感を持って政策を遂

行するんだっていうことなら別なんだ。**総合計画という体系を見直すというこの中の意味合いが我々とあなた方と違ってんじゃないかと把握の仕方が。**だから、私も思いますけれどもこの切迫感ある来年改選期を迎える。それから第九次総の検証期間は令和5年から、それで、総合的見直しを図るには、令和6年からというスケジュール感の中で、今、総合的に見直すところはどこが必要なんだってことははっきり言えるのかどうかっていうことは、皆さんの疑念のもとになってると思うんですがそれについてはいかがですか。

上田企画部長) はい。ご指摘の通り**今の現時点でここをこういうふうに直したいんですがというようなものをお示しできる段階にないというのが事実**でございます。今、本日の協議させていただいておりますのは、市長の交代ということそれからコロナの影響という大きなその情勢の変化というものを捉えて、条例にありますような情勢の大きな変化があった場合には、見直すことができるというようなところをとらえて協議をさせていただいてるところでございます。これから今進めておりますが、どのレベルといいますか、本当に枝葉だけなのか根幹部分までかかってくるのかというのはこれからの整理にはなるんですけれども、基本的に先ほど橋本委員がおっしゃったような本当の**根幹部分は変わらないだろうというふうに想定はしておりますが、今の八次総についてはまちづくりの方向性**それから、その下に**まちづくり戦略**、その下にまちづくりのポイントというようなポイントというところについては、若干枝葉の部分になろうかと思っておりますので、何ヶ所かはそのまま**まちづくり戦略**というところで、**追加なり修正なりということが出てくるのかな**というような、**想定はしている**段階でございます。おっしゃる通り、今、どこをどうしたいのをお願いするというようなところがちょっとお示しできないので恐縮でございます。ただそういったものを全て整えてからお諮りするとまたそれはそれで遅いんだろうと考えまして、今回見直すということについてまずもって協議をさせていただいたというところでございます。

中田委員) そういうことから言えば先ほどのご答弁の中にあつた具体論。私一般質問でも新市長の公約いちいち根幹になる部分は聞いていましたけれども、何かはしたいとおっしゃるんだけど、**具体論は全くなかった。その具体論がない中で、八次総を見直すんだって言われても、私達にはどこをどういうふうにして根本的に見直すのかってことはやっぱりわからない。**で、先ほど答弁の中にあつたが、現課とのやりとりの中でそれを詰めていくんだっていうことになっておりますが、そうしたことがやっぱり浮かび上がってこない、今の見直し論の必要性っていうところまで、あなた方の説

得力がちょっと足りないというふうに思うんですが、だから私は市長公約を実現するなんていうことは言わない。どんどんやってもらいたい。だから、やるためにはどういう手法が一番いいのか。それはやっぱりよく考えていただきたい。現課との検証、八次総の検証をするには、当初では、(令和)5年度を当てて1年間かけて検証するってことになってる。それを踏まえて、令和6年度には新しい九次総を組み立て直すんだっていうことになってますから、その間の中のこの、この切迫した3ヶ月か4ヶ月の間に全部できるのかと。だからあなた方の言われる見直し論っていう思惑がどこにあるのかが、今の上田部長が答弁されたように、少しわかりにくい。だからその辺の時期尚早って先ほどどなたかが言われましたけど、そういうふうにとられるんじゃないかと私は心配します。ですからあなた方のやりたい部分が、きっちりと総合計画に位置づける改正ということの意味合いをもう少し詰めてもらわないと私は**不毛な議論**だけを議会の場でしてしまうような気がしてしょうがないんです。やっぱり、市民参加と情報の共有ってことは、二大の柱ですから、市政運営上のそういう中では、少し時期尚早感があるんじゃないかっていうのは私の意見です。以上です。

西田副委員長) 何か答弁はありませんか。

西倉副市長) お話の通り、令和5年度において検証し令和6年度で策定という流れで進めておりました。今お話をさせていただいた、**総合計画の見直しというその見直しに対する受け止め感**というのが、確かに今日のお話された議会側がどこまで受け止めてみえるのか、また理事者側がどういう考え方で今進めようとしているのかということ、**少しすり寄せる必要がある**というふうに思ってます。そのためにも私どもの思いとしましては**市長の公約**、さらにコロナ禍の中でのということですが、それが本当にさらにこの3ヶ月余の間にどこまで掘り起こすことができるのか、また新たな政策なり戦略というものを組み立てることができるのかということ、**早くお示しさせてもらう必要があるのかな**というふうに改めて認識させていただきました。そういった作業は当然進めさせていただきますやるべきことは当然やる一方で、そういったところを、また引き続き協議をさせてもらいたいと思いますのでお願いいたします。

西田副委員長) 中田委員よろしいですか。委員長交代します

中田委員長) 今いろいろお聞きした中で私達の思う総合計画の改定ってのはどういふもんなんだろう、それから理事者が今必要だと言って進められようとしている範囲の問題は、先ほども説明ありました。総合計画体系の中の第3弾、個別計画・実施計画に関わるような問題なのかっていうところのすり合わせはまだ我々と皆さん方ときっちり行ってないっていうような思いを

しました。

それぞれ委員の皆さん思われるところは言っていましたので大枠としての議論は尽くせたと思いますけれども、いわゆる協議事項ですので、ここで委員間討議に入りたいというふうに思っております。委員間討議の内容としましては、今の総合計画の見直してというものの内容が、今浮かび上がったように、本当にこのままでいいのだろうか。だから、体系として、全て見直さなければならないその見直しを、本当にここでやる必要があるのだろうかというような点について、皆さんのご意見を伺いたいというふうに思います。いかがでしょうか。

西本委員) 先ほどもいろいろ確認をさせていただきました。そういった中で、今ほども企画部長がお話されましたけども、現時点で、ここをこういうふうに見直すということははっきり言えないというふうなお話です。想定している段階ということでここに今協議をかけてお見えになったわけですけども、例えばその地域のまちづくりというのも基本計画の中に入ってます。この地域のまちづくりは各地域へ職員の方も何度も出向かれて地域の声を聞いたりして積み上げてみえた計画です。この計画の今の内容を各地域の見直しにしても、私の住んでる地域周辺地域についてみましても、もうあと、**八次総が、2年少し残す段階ですけども、できていないことたくさんあります。まだまだやってもらいたいことたくさんありますし、けどできていない状況です。そういった中で、また、計画作りに労力を費やす。そうになっていいのかなという、僕は率直に思います。**それよりも、職員の方、そういった**時間があるのであれば、もっと地域に出向いてもらいたい。**例えば、私の地域のことでしたら、地域振興策、スケジュールの関係もありまして大きな課題になってます。もっと地域に出向いて意見を聞いて、どうしたらいいんやろと一緒に会って考えてもらいたい。そういうふうに、そういうところにエネルギーを費やしてもらいたいというふうに私は思います。そういった中で、本庁の職員の方、もうコロナで、先ほども話しましたが、大変な部署もありますし、いろんなこと頑張ってみえます。そういった方にはもっとそっちの方に、**今緊急事態、非常事態ですので、そちらにエネルギーを費やして、市民生活をしっかり守ってもらいたい。**それともう一つは、視察に行ってみましても、例えば観光施策についても、他の市では、もういろんなデータ分析をしたりして新たなアフターコロナの計画作り、実際にそのデータ蓄積なんかも行ってみます。そういったところにエネルギーを抑えてもらいたいというふうに思います。そういうことを考えると、先ほども話しました、**田中市政、新たな施策公約をしっかりとスピーディーにやってもらいたい。それは思いますが、そこでそれをやるためにも、この計画を見直してまで基本計画を**

見直してまでやる必要があるのかという辺りは、その辺ちょっと疑問に思っています。

谷村委員) 私の方からも改めてですけども、今西本委員も言われました。**地域まちづくりの視点においても、八次総合計画の中で、本当にどれだけの事が実際にできているのか。**そこを中途半端にただけで、市長公約やコロナというところの総合計画の連動ということは、行政側の行政運営としてそこをスピーディーに位置づけたいという意思是わからんでもないんですが、しかしながら、市民にとってそれがどれほどの重要度があるかということを見たときに、**総合計画の骨組のところの見直しに具体的事案も鮮明でない中で、その方向性でいいと言われても、先ほど来言ってもそれはまだちょっと時期が拙速であってその方向性でいいとは私は言えない**というふうに今のところ改めて感じています。またあえて今先ほど副市長から、本来的にやりたいというところも確かによくわかります。その中で副市長自らも引き続き早めに協議を挙げていただいたことについては非常に感謝を申し上げるところでありますけども、**協議に対する明確な意思を示さなきゃいけない委員会としては、副市長も先ほど言われましたけど引き続き少し協議をしなきゃいかんということもおっしゃいましたので、今回の協議については、この方向性でというところで進めてよろしいというところには少し至らない。**というふうに私は判断しています。以上です。

松山委員) 私は八次総合計画の遂行こそが、**八次総合計画の遂行こそが、コロナ対策の方法であって、**具体的な問題等々は対症療法もしっかり今のコアの八次総合計画の遂行を基盤に、いろいろこの問題は対症療法と同時に基本構造の変化、**これを速やかにやっけていく、これで対処して十分でそのことを踏まえて、次の総合計画の準備に入るべきだ。そういう見解**です。以上です。

橋本委員) 先ほど、自分の考えはのべさせていただきましたけども、まず市長公約されたことに対しては、遅らせていただければははっきり言って困ると。公約に基づいてある程度事務的に進めていただかなければいけないと。しかしながらこの**八次総のですね、変更または見直し、これが手続き上これだけの手続きが必要なのかどうか**ということ。これは事務的にですねどうしても必要な事案、技術事案とかですね、これについてはまた別なんですけども、そのような大きなものは、変更しようとする主張してみえるのかどうか、ちょっとこれも確認ができておりませんが、まず現時点で、協議事項に出てきたっていうのは、全体的な手続き流れをこういうような方法で今言った、市長の件それからコロナの件をやっけていきたいということなんですけど、先ほど来お話ししたように、**見直し変更事案等**ですね。現時点で明確になって

ないということ。しかしながら明確になった時点ではもう遅いってこと上田さん言われましたけども、その辺のちょっと取り扱いをですね、どうするかっていうことはまだまだこれから必要かなというふうに思っております。ちょっと中途半端な言い方で申し訳ございませんが、要はこれまでの手続きが必要なかどうか、手続きをしなければ、事業が進められないのかっていうことを、少し感じております。

笠原委員) 今、皆さんの言われた通り今どうしてもその何がしたいっていう市長の公約に基づいてとかウィズコロナということで八次総見直すっていうふうなんですけど、**内容がいまいちわからない中でそうやらなければいけないのかなっていうのも思います**ので、社会情勢的に言えば今円安とかウクライナ情勢とかで物価高騰とか、そういうこともちょっと、**世の中大変な中で、その分そっちの方にあの能力を使っていた方がいいんじゃないか**というふうに思います。

片野委員) 私も皆さんのお話聞きながら、一つ女性の立場というか、話を聞く中で、市民の皆様からとても市役所の方お忙しいってというような状況の中で対応にとっても余裕がなくという話も聞いております中で、今本当に皆さんが高山市のために一生懸命よりよいまちを作っていこうというところで、**私自身もお恥ずかしいんですがこういう計画があることは今議員になるまで知りませんでした**。ということは、こういう形を整えていくこと、とても必要かとは思いますが、**今議員の皆様が、お話されたように、市民のために直結するようなことを優先いただけたらな**ということだと思います。

西田委員) 私も皆さんの意見に賛成といいますか、特に西本委員が言われた**時間があれば、もっと地域へ出向いて、地域の現状を見てほしい**というところですね。そういうところにエネルギーを費やして欲しい。今のコロナ感染症をですね、1月ぐらいになると第八波というそういう、専門家の心配もありますので、**もっと力を注ぐところがあるんじゃないかとそういう心配をする次第です**。以上です。

中田委員長) それぞれ皆さんのご意見をお聞かせいただきました。ちょっと時間いただいて、まとめをさせていただきますので、しばし休憩をいたします。

中田委員長) 休憩を解いて会議を続けます。ただいまの議員間討議の中では、ほとんどの皆さんほとんど**全部の皆さんが、ちょっと拙速じゃないかというご意見でした**。それをその理由はそれぞれ述べられていただきました。大事な点は、この期間に、総合計画を見直すことについての認識が、行政の皆さんと委員会3常任委員会(それぞれ)にあったと思います。多分私初日の総務委員会も傍聴しましたが、そういう意見も出てきたというふうに思っています。**その結果を見直すってことは、幅広い内容のある総合的まちづく**

りの内容を見直すということなんだっていうところで、皆さんが説明される理由と受け止める委員会の意見が少し同調してないんじゃないかと。だからその辺のところのすり合わせはもういっぺんしていただきたいというようなご意見もございました。ですから、このままの今日のご答弁いただいた内容では、私どもの委員会としては、このまま受け止めて、はいわかりましたというわけにはいかない、という内容でなかったかというふうに思います。その内容につきましては、議会とのすり合わせも大事です。それからもう一つ、市民との合意の上で総合計画というものをどうあるべきかという形で、改定していくには、時間的にどうなのか。しかしながら、市長は公約でうたった内容についてやっていただくには、時間的に、速やかに実行に移していただきたいというものを市民の期待に応えることであるということもわかりますので、総合計画そのものよりも、個別計画、実施計画の中でできるものは対応していただきたいというようなふうで、ちょっとまとめさせていただけましたけどそんなふうでよろしいでしょうか。

橋本委員) 皆さんのご意見を聞いているとそのような判断かなと思います。拙速ではないかとかいう委員長いわれましたけども、それ、その言葉が妥当なのかはまた別にしてですね、現時点で、あくまでも市長がやろうとしてみえることについて、遅らせていただければはっきり言って困ると。しかしながら手続き上ですね、やはりその総合計画条例もありますよね。あくまでもこれはできる規定なんですよね。だから、事務的に進めるのに、これだけの手続きを取らなければいけない(のか)、今後の予定でいくと、逆に遅れるんじゃないかというような懸念も(ある)。やろうとしてみることがですね、懸念だと。いうことも踏まえてですね、今お話あったように今後の手法については、ぜひ今後とも検討いただきたいなということだと思っんですけども、委員長の言われた方向的には一緒です。

中田委員長) 今そういうことの内容を結論とさせていただきますので。理事者の皆さんに申し上げます。今お聞きになった通りです。もう少し議会との間でのコミュニケーションをとっていただいて、何をやりたいんだからこうだと、それからご答弁の中で言っていただいた様に、まだ原課とのやりとりの最中だよっていうふうなら、その時期を見計らって、これからどうしていくことが正しいのかってことをもう一遍ご考慮いただきたいということが結論です。今すぐ言われた通りのこのスケジュールの内容でやれば、無理が祟ってくる。かえってこれやると整合性に欠けるんじゃないかという心配もあります。その辺のところは、今までのご努力を無にするわけではありませんので、図っていただきながら、もう少しいい方法はないか探っていただきたい、そういうふうに思います。今回のこの案件につきましては、少し、

もう少し見直して、議会とのコミュニケーションをとっていただきたいということで、お伝えをさせていただきたいと。よろしいでしょうかこんな風で。委員の皆さん、よろしいですか。

谷村委員) 加えてですけども、ぜひとも先ほど西田委員の方からパブリックコメントの現状についてもお話ありましたけども、**総合計画だからこそ、市民との情報共有・市民参加を今一度、活発にするということも、何か工夫をされた上で、急ぎたいんだということ**で説明していただかないと、なかなか納得度は得られないということをちょっとその市民参加ということについてだけ、ちょっともうちょっとありました

中田委員長) 今の谷村委員の意見も付け加えておきます。

それではこのような結論でお願いをしたいと思います。理事者の皆さんありがとうございました。休憩いたします。